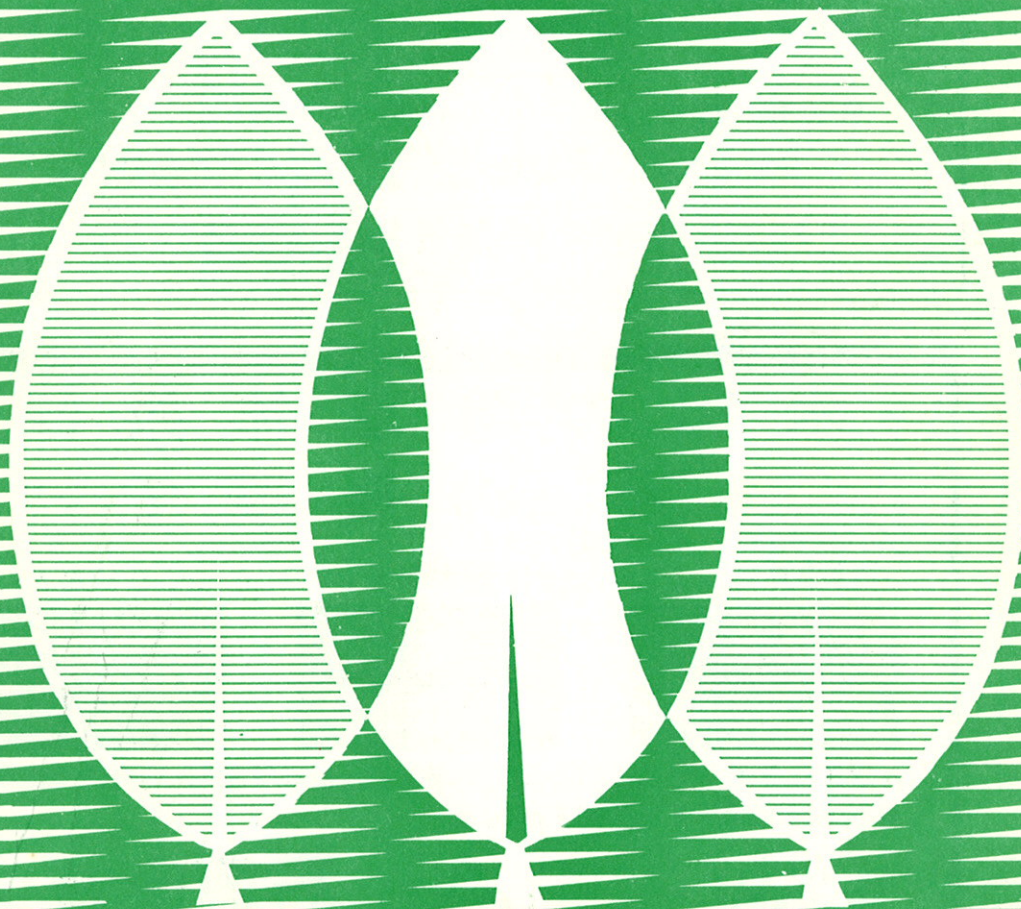


調 植

第4卷第1号



財団法人 日本植物調節剤研究協会編

出ました!!水苗代に絶好の除草剤

アタックウィード乳剤 (試験名) HE-314

高い除草効果——ノビエの1～2葉期(播種後10～16日)に湛水のまま散布しノビエを始め1年生雑草に高い殺草力を発揮し、その後の雑草の発生も抑えます

稲に安全——稲には選択的に安全性を有し、また有機燐剤やカーバメート系殺虫剤との近接散布でも安全です。

使用が簡便——湛水状態のまま落水することなく散布できます。また散布前後の降雨にほとんどかわりなく使用できます。

低毒性——人畜、魚貝類には低毒性で安心です。

アタックウィード乳剤は 稚苗田植機栽培 にも最適です。
湛水直播栽培

総発売元 **三洋貿易株式会社**
〒101 東京都千代田区神田錦町2の11

水田の除草体系は イシのマーク の農薬で

初期除草に



中・後期除草に



刈りとりあとに



- 水田除草剤・畑地除草剤・樹園地除草剤・林地除草剤・非農耕地除草剤
- 作物乾燥剤 ■ 植物成長調整剤



◀説明書進呈▶



石原産業

本社 大阪市西区江戸堀上通1丁目11番地の1
東京支社 東京都港区西新橋3丁目20番4号 (第8森ビル)
名古屋支店 名古屋市中区栄3丁目15番19号
福岡営業所 福岡市天神1丁目12番14号 (渡辺ビル)
札幌営業所 札幌市大通西7丁目2番地 (酒造会館ビル)

ワ ラ ビ

西暦紀元前1122年というから今から約3000年前、周の武王は殷の諸侯の1人であったのにかかわらず、殷の紂王が非常な暴君であったため、これを攻め亡ぼしてしまった。その時、武王の忠臣伯夷叔斉の2名が、仮にも主たる殷の紂王を臣たる武王が攻めることは宜しくないといって諫めたが、ついに武王はこれを聞き入れなかった。そこで、伯夷叔斉は、終生周粟を食まずといて、首陽山に入ってワラビを食って過ごし、武王の招聘に応じなかったという。伯夷叔斉がワラビの芽を食ったものか、根を食ったものかわからないが、我々は好んでワラビの芽(若い葉柄が主たる部分)を茹でて食ひ、根からは澱粉をとって餅などを作る。特に凶作の年には、ワラビの根を掘って飢えをしのいだ例は東北・北海道には決して少なくない。こうして考えて見ると、我々人間にはワラビというものは有毒なものとは夢にも思えない。

ところが、牛がワラビを食べると汎骨髄癆という病気にかかり、骨髄中の造身機能がなくなって死んでしまうし、馬ではビタミンB₁の破壊を起こして病気になるという。特に牛においては、昭和36年以後の43年までに入牧頭数約3000頭のうち643頭がこの汎骨髄癆にかかり、その半数以上即ち366頭が死亡または廃用になってしまっているという恐るべき状態である。

今や政府の畜産振興政策に伴って、草地造成面積は全国で22万ヘクタールを越すに至っている。しかるに、草地造成後数年にしてワラビの繁茂著しい牧野が少なくないと聞いている。いずれこれらの細かいいきさつについては、号

目 次

水稻の機械移植栽培における 除草剤の使用法 広島県立農業試験場栽培第1部長 原 田 哲 夫	2
昭和45年度新供試除草剤・ 生育調節剤一覧表 第1表 昭和45年度対象別 供試薬剤一覧表	8
第2表 昭和45年度新供試 薬剤成分一覧表	8
(財)日本植物調節剤研究協会 新登録除草剤一覧 農林省農政局植物防疫課	18
登録生育調節剤一覧 農林省農政局植物防疫課	21
新除草・調節剤 ゼロワン粒剤	22
ゼロワンP粒剤	22
HOK-7502粒剤	22
HOK-7505粒剤	23
植調協会だより	23

を改めて報告する機会を持つ予定であるが、何んとか草地造成時、あるいは造成後このワラビの繁殖を抑えて、安心して家畜を放牧できるようにし得る、ワラビ除草剤の開発を望んでやまない次第である。

(財)日本植物調節剤研究協会会長 河田 党

水稻の機械移植栽培における 除草剤の使用法

広島県立農業試験場 栽培第1部長 原 田 哲 夫

1. 稚苗田植えの普及と機械化

室内育苗器の普及にともなう、稚苗を手植えする田植え作業が最近急速に普及されつつある。いま、広島県における状況をみると、最初に試みられたのが昭和33年で0.6 haであった。以後逐年増加して、38年260 ha、40年1,005 ha、42年2,550 haで水田総面積の約4%に及んだ。そして、43年3,826 haと全水田面積の5.8%となった。

すなわち、昭和33年に県内に導入された室内育苗機は、北部地帯における育苗の安定と増収に大いに役立った。しかし、当時の室内育苗器による育苗は、苗代での仮植を前提としての稚苗の育成であった。そのために、苗ベルトを作るための播種の操作が非常に煩雑であった。そのためか、室内育苗器は意外に普及しなかった。この播種の操作を簡易化するために、苗箱に散播して2～3葉期の稚苗を直接本田に田植えする栽培が行なわれるようになった。そのために、室内育苗器の普及が促進され、昭和44年度における広島県の普及台数、大型が29基、中型が309基、小型が2,451基である。

この稚苗田植えが田植機の改良と開発にともない、才1表に示すように手植えから機械植え

にかわりつつあり、その速度も急速化しつつあるが、現在では手植えの方が多い。

2. 田植機の普及の現況

昭和43年11月1日現在のわが国における田植機の普及状況について農林省が調査したところによれば、総数14,374台でそのうち、90.8%（13,058台）は人力1条用で占められている。また、土付苗型式と根洗苗型式の普及台数の割合は、前者が99.1%を占め圧倒的で、後者の根洗苗型式は僅か0.9%に過ぎない。なお、土付苗型式動力用田植機は全体の8.3%にあたる13,058台が普及している。

中国・四国地域での普及状況をみても、総数3,590台のうち、99.5%（人力用3,232台、動力用343台）が土付苗型式である。

このように、現在普及されている田植機は殆んどが土付苗型式のものである。従って、こゝでは主題の機械移植栽培とは土付苗型式のものについてふれることにする。もっとも、根洗型式のものは成苗を用いるので慣行移植栽培と殆んど変わらない。

3. 土付苗型式田植機による田植えの特徴

こゝでは特に除草剤の使用の面からみた特徴をとらえることにする。

1) 苗が小さい

土付苗型式の田植機は、草丈が10～15 cmで、葉齢が2.5葉前

第1表 広島県における稚苗移植の普及（県農業改良課調）

年 次	手 植		機 械 植		計	
	ha	%	ha	%	ha	%
43	3,433	5.2	393	0.6	3,826	5.8
44	2,049	3.4	1,094	1.8	3,147	5.3

注 %は水稻全作付面積に対する比率

後のいわゆる稚苗が植え付けられる。従って、苗の水没の割合が慣行田植えにくらべて大で、接触害をはじめ薬害をうけ易い。

2) 浅植えとなる

土付苗型式の田植機で田植えした場合の植え付けの深さは浅い。昭和41年から44年の3か年間、当場で試験した19例の結果によれば、平均2.6cmで最も深いもので3.8cm、最も浅いもので1.7cmであった。従って、根圏が表層に近くて、薬害をうけ易い。

3) 浅水になる

このように小苗であるために植え付けから活着までの期間は2～3cm程度の浅水管理が必要である。従って、田面の均平化が不充分であると、水没苗とか、または完全に田面が露出するなど、除草剤の効果が不揃いとなったり薬害を起こすものとなる。

4) 早植えとなる

稚苗の田植えは、安定多収のために田植え時期が慣行田植えよりも10日程度早く植え付けなければならない。そのために、田植え当時は低温で稲の生育期間も長い。従って、雑草はグラダラと長期間に亘って発生し、マツパイなどの多年生雑草も発生し易い。特に、気温の低い

地帯になる程その傾向は強い。

以上のように、稲の方は薬害の面から使用できる除草剤は極度に制約をうける。反面、雑草の方は防除し難い発生相となり、稚苗移植における雑草防除は慣行移植より一層困難である。例えば、広島県の北部地帯の農家では、稚苗田植えをするとマツパイの発生が多くなるので、稚苗田植えを中止した事例もある。

従って、除草剤による本田の除草法は、除草剤の性質をよく考えて、合理的に行なうことが必要である。

4. 除草剤による雑草防除

先に述べたように稚苗田植えにおける雑草防除は、田植え当初が重要であり生育が進むと慣行移植の除草剤の使用法が適用できる。従ってここでは初期雑草防除を主体に述べる。

1) 土壌処理剤

先に稚苗田植えは浅植えになるために薬害を起こし易いと述べたが、この点について検討した結果が表2の通りである。すなわち、成苗より稚苗の方が薬害の発生が多く、しかも浅植えになる程薬害が多い。稚苗では植え付けの深さが3cmの場合でもPCP粒剤では、葉枯れと

第2表 苗の大きさ・植付の深さと薬害との関係

(昭和40年於広島農試高冷地支場)

供試薬剤 (成分g/a)	植付 の深さ	室内育苗(稚苗)			保温折衷(成苗)		
		枯死株	葉枯株	黄色黄変株	枯死株	葉枯株	黄色黄変株
PCP粒剤 (100)	0cm	16.2%	6.3%	77.5%	2.6%	30.0%	67.5%
	1	1.3	2.6	38.8	0	8.8	17.5
	3	0	12.5	15.0	0	2.6	10.0
NIP粒剤 (21)	0	0	18.8	0	0	0	0
	1	0	2.6	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0

植付時の苗の大きさ

稚苗…草丈：13.2cm 茎数：1.0本(苗代日数12日)

成苗…草丈：22.6cm 茎数：2.2本(苗代日数41日)

田植：5月20日 処理：5月25日

か黄変などの薬害がみられるが、NIP粒剤では全くみとめられない。このように、NIPは稚苗の浅植えでも田植え後の土壌処理剤として稲には

安全性が高い。しかし、田面が露出している部分の雑草には効果が劣ったり、マツパイには殆んど効かない。なお、CNPもNIPと同じよ

に対する除草効果が高く、その上マツパイにも有効であることがわかった。しかし、BM-3015粒剤は処理幅が狭く、B-3015・S粒

第3表 稚苗移植におけるCNPの効果 (昭43年広島農試)

供試薬剤	使用量 (成分 g/a)	残存雑草量の無処理対比(%)				薬害	収量無 処理比 (%)
		イネ科	カヤツリグサ	広葉	計		
CNP	21	3.2	0	0.7	2.6	ビ	113
CNP	28	0	0	0	0	ビ	103
NIP	21	0.8	0	0.7	0.8	ビ	113

田植(田植機ヤンマーフロード): 6月14日 処理: 6月17日
苗の大きさ……草丈: 15.5cm, 葉齢: 2.0 水深: 3cm

剤は田植後土壌処理で2葉位になった雑草にも効くが、稲の生育抑制がみられ、特に最高気温30℃(才5表参照)以上の日が数日つづくと薬害を発生すること

うに効果がみとめられる。

慣行移植一年生雑草をはじめマツパイに効果のあるMCPCA, PCP・DBN・MCPB PCP・MCP・DCBNなどは稚苗移植には使用できない。従って、先にも述べたようにマツパイの防除が至難となる。

昭和44年にカーバメイト系のベンチオカーブ除草剤の稚苗への適応性を本県の本場と高冷地試験地で検討した。その結果は才4表のように

が観察された。そこで、これらの安全な使い方について今後検討する必要がある。

2) 除草剤の使用体系

(1) 広島県における事例

昭和44年に除草剤の組み合わせ試験をしたうちで、効果の高かったものを示すと才6表の通りである。この結果では、いづれもマツパイにも効果がある。そこで、CNP→PAMの体系はとりあえず、昭和45年度から普及に移す

第4表 稚苗移植におけるベンチオカーブの効果 (昭44年広島農試)

供試薬剤	試験場所	処理時期 (田植後日)	処理量 (成分 g/a)	残存雑草量無処理比(%)			薬害 程度	収量無 処理比 (%)
				一年生	マツパイ	計		
BM-3015粒	高冷地	5	18+21	7	7	7	ビ	106
		10	18+21	27	7	29	ビ	112
	本場	4	18+21	0.6	0	0.6	ム	113
		4	24+28	0.4	0	0.3	ビ	109
M-3015・S粒	高冷地	5	21+45	27	29	27	ビ	104
		10	21+45	30	7	29	ビ	105
	本場	12	21+45	0.1	0	0.1	少	107
		12	28+60	0	0	0	少	108

高冷地とは本県の高冷地試験地

こととし、CNP→3015・Sの体系についてはさらに検討(理由は前述)して、より安全で高効率な除草体系を確立したい。

なお、昭和45年度にお

ベンチオカーブとCNPの混合剤であるBM-3015粒剤およびシメトリンとの混合剤であるB-3015・S粒剤は、1年生一般雑草に

ける稚苗移植の除草剤の使用基準を示すと、才7表の通りである。

(2) 全国的な事例

昭和43年度より農林省の委託研究として実 術の緊急開発に関する研究」として水稻の移植
 施された「構造改善推進のための農業機械化技術 収穫作業の機械化による栽培技術体系の確立に

第5表 B-3015・Sの気温と薬害との関係 (昭44年広島農試)

供試薬剤	20～30℃			25℃			15～25℃			20℃		
	枯葉数	草丈	茎数	枯葉数	草丈	茎数	枯葉数	草丈	茎数	枯葉数	草丈	茎数
B-3015	4	40	12.5	7	43	13.5	7	28	11.7	9	32	10.5
BM-3015	5	41	13.1	7	42	13.9	13	27	11.7	7	31	9.9
B-3015・S	25	40	10.9	5	42	12.6	9	27	10.1	8	31	9.7
無処理	8	41	12.7	8	41	11.2	6	28	12.2	6	31	9.5

に関する研究で、

昭和43年度

に各地域農試

ごとに機械移

植の耕種基準

が設定された。

そのうちで、

除草体系の部

第6表 除草剤の組合せによる効果と薬害 (昭44年広島農試)

除草剤の組合せ	処理時期 (田植後日数)	処理量 (成分g/a)	残存雑草量無処理比(%)			薬害	収量無 処理比 (%)
			1年生	マツバ	計		
CNP→PAM	4→21	21→40.2+3.6	9	16	12	ビ	103 _※
		21→53.6+4.8	5	11	5	ビ	82
CNP→B-3015・S	4→21	21→21+4.5	0.1	1	0.1	ビ	120
		21→28+6.0	0	0	0	ビ	140

分をひろってみると、

大要次のようである。

・北海道農試

活着後(ただし移植

後10日までに)CN

P粒剤,その後は普通

移植に準ず。

註、 ※の収量は原因不明であるが薬害ではない。

第7表 稚苗移植栽培除草剤使用基準 (昭和45年度・広島県)

薬 剤 名		効 果			魚 毒	使用時期	使 用 量 (製品 / 10a)	使用 地域	使用方法	使用上の注意
		一 年 生		マツバ						
		イネ科	広葉							
初 期	N I P粒剤 (ニツバ) 7%	◎	◎	×	B	活着後 (田植 4 ～ 6 日後, 草の発生 始期)	3 ～ 4 Kg	全域	たん水の まま使用 薬量を手 または散 粒器でむ らなくま く	1.高冷地の初期雑草 の多い水田では活 着中耕除草 1 ～ 2 日後に使用する 2.その他は一般移植 栽培に準じる
	C N P粒剤 (MO) 9.0%	◎	◎	×	A					
	P C P粒剤 25.0%	◎	◎	×	指定	活着中耕 除草後	3 Kg	中南部	同 上	上記の除草剤を使用 しない場合に使用 する その他一般移植栽培 に準じる
	P C P・M C P (バムコン)	◎	◎	○	指定					
中 期	P C P・M C P 粒 剤	◎	◎	○	指定	田植 15 ～ 20 日後	3 Kg	中南部	同 上	田植後に N I P ま たは C N P 粒剤を 使用したときに使用 する
	バムコン P C P 18.4 M C P 1.2%									

2.4-D ・ MCPは一般移植栽培に準じる

・東北農試

田植え2日前(植代後)または田植え7日後にCNPあるいはNIP、25日後にPAMを中耕2日後か無中耕で使用、あるいは30日後にMCCM。

・北陸農試

田植え3～5日後にCNPあるいはNIP、または田植え前2～3日にCNP、田植え後10～15日以降は慣行移植に準ず。

・農事試験場

田植え4～7日後にCNPまたはNIP、植代後田植えまでの日数が長い場合は、植代後(田植え前1～3日)にCNP、雑草の多い場合は田植え前後処理を併用するが、田植え後処理は10日～15日、その後は慣行法に準ず。

・東海近畿農試

雑草多発田、代掻→田植え日数が長いときおよび田植え期がおそくて代掻き後早く雑草が発生するような場合には、田植え前にCNPあるいはNIPを使用する。

田植え数日後にCNPあるいはNIPを散布するが、田植え前処理したものは雑草の発生状況によりさらに数日遅くするが、発生がなければさらにおくらせて、CNP、NIP、PCP+MCP、CNP+MCPなどを使用するが、

田植え前後の処理の効果が少なければ機械除草後に前記の除草剤を使用する。

・中国農試

田植え3～5日後にCNPまたはNIP、雑草の多い水田では代掻き後で植え付前3～4日および田植え5～7日の2回使用する。

・四国農試

田植え後3～5日(早期は5～7日)にCNPまたはNIPを散布、苗が軟弱のときは機械除草後に散布、効果不十分のときはノビエの1～2葉期にグラサイド乳剤を散布する。

・九州農試

北部平坦地では、田植え後3～7日頃にCNPまたはNIP、効果不十分のときは中耕除草後再度使用するが、中耕を省いて10～15日後にHE-314を散布する。なお、植代から田植えまでの日数が長いときは田植え3日位前にCNPまたはNIPを使用する。

以上のように各地域とも田植え当初はCNPあるいはNIPの処理を行ない、生育が少し進んでからは慣行移植の除草法を準用している。

3) マツバイの防除

先にも述べたように、稚苗移植栽培では、田植え時期が早いことと、稲の初期の繁茂度が小さいことから、特にマツバイの発生が多い。そ

第8表 秋季処理によるマツバイの防除 (昭42～43年広島農試)

供試薬剤	処理量 [製 g/a 品]	翌春のマツバイ発生量(対無処理比%)					
		昭42(10月8日)		昭43年			
		10月9日 処理	10月18日 処理	湿田(9月30日)		乾田 10月28日刈 同日処理	湿田(休閒) 10月28日処理
				10月8日 処理	10月15日 処理		
2,4-D・ATA(水)	30	4	13	5	7	2	23
2,4-D・ATA(粒)	800 450	15 6	25 19	5 18	8 9	2 2	12 12
パラコート +CAT	10+10 20+10	— 4	— 3	11 18	27 37	19 14	40 23
パラコート	30	8	22	—	—	—	—

れにもかゝらず、マツバイを枯らし、稲に安全な土壌処理剤が選出されない。そのことは、

稚苗移植の普及を阻害する一つの大きな要因ともなる。かかる見地からして、先に述べたベンチオカーブなどの出現は、暗夜に光明を見出した感がする。しかし、マツバイの防除にあたっては、これらの除草剤にすべてを期待することは困難で必らず稲刈り後の秋季防除を併わせ行なわなければならない。

広島農試で試験した結果をオ8表に示したように、2,4-D・ATA水溶剤(カリアートル)を粒状化した2,4-D・ATA粒剤(カリアートルA)も乾田、湿田をとわず効果が高い。また、スズメノテッポウを主体とする1年生雑草を枯らし、マツバイにも効果のあるパラコートは、その単体よりもCATを加えることによってパラコートの量を少なくすることができる。

5. まとめ

各地域の除草体系を通じていえることは、普通栽培における除草体系に加え、さらに早期除草剤としてCNPまたはNIPが使用されている。それは、これらの除草剤が非ホルモン型、接触性土壌処理剤で稲に対する害作用が極めて軽いからである。

従って、普通栽培の場合の使用法と全く同じように、田植え前または田植え後の雑草発生前から発生始期に散布して最も高い効果を現わす。しかし、田植機を使用する場合は、田植え前処理の場合は機械操作によって、その処理層の破壊が手植えの場合より多いので、除草効果からしては一般的には田植え後処理がよい。

なお、マツバイ防除としての秋季処理は必らず行なう必要がある。

昭和45年度新供試除草剤・ 生育調節剤一覧

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会では、昭和45年度夏作関係除草剤・生育調節剤委託試験に供試する各社の委託申請をさきに締切り、これら試験実施場所を決定した。

本年度の供試薬剤数を対象別にみると第1表のとおりである。次に、本年度供試された薬剤のうち、新規委託のものについて、その有効成分および委託者を示すと、第2表のとおりである。

＜第1表＞ 昭和45年度対象別供試薬剤一覧表

昭和45年5月15日現在

対 象	供 試 薬剤数	対 象	供 試 薬剤数	対 象	供 試 薬剤数
水 稻 除 草 剤	114	そさい・花き除草剤 ス イ カ	2	果樹生育調節剤 モ モ	1
稚 苗 移 植	34	カ ン ラ ン	3	カ キ	2
苗 代	13	レ タ ス	2	ナ シ	1
湛 水 直 播	10	ハ ク サ イ	3	オ ウ ト ウ	1
乾 田 直 播	16	ネ ギ	3	茶 園 除 草 剤	2
休 耕 田	12	タ マ ネ ギ	6	生育調節剤	1
水稲生育調節剤	11	ゴ ボ ウ	1	桑 園 除 草 剤	6
畑 作 除 草 剤	11	ダ イ コ ン	3	生育調節剤	3
陸 稲	11	ニ ン ジ ン	4	林 地 除 草 剤	2
麦	2	エ ン ド ウ	1	牧 野 草 地 除 草 剤	11
とうもろこし	12	ニ ラ	2	芝 生 除 草 剤	4
甘 藷	5	サ ト イ モ	1		
馬 鈴 薯	9	マ ル チ	2	農薬残留量分析 水 稲	5
てんさい	6	そさい・花き 生 育 調 節 剤	1	畑 作	10
落 花 生	11	ゴ ボ ウ	1	そ 菜	15
大 豆	19	ビ ー マ ン	1	果 樹	2
小 豆	10	花 木	1	茶	2
菜 豆	13	果 樹 除 草 剤	23	牧 草	1
さとうきび	2	ミ カ ン	8	そ の 他	1
こんにゃく	1	リ ン ゴ	5		
マ ル チ	17	ブ ド ウ	5	展 示 圃 水 稲	55
畑作生育調節剤	4	モ モ	3	畑 作	6
そさい・花き除草剤 一 般	2	カ キ	2	そ 菜	8
ト マ ト	4	ク リ	1	桑	1
ナ ス	1	ウ メ	1	果 樹	1
キュウリ	3	果樹生育調節剤 ミ カ ン	14		
イ チ ゴ	4	リ ン ゴ	11		
		ブ ド ウ	2		

＜第2表＞ 昭和45年度新供試薬剤成分一覧表

(新 規)

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
①水 稻 除草剤	S-45865 +HOK- 7501	粒	S-45865〔2,4-ジクロロフェノキシアクリル 酸シクロヘキシルエステル〕 9% HOK-7501〔2-メチル-4-クロロフェノキシ チオ酢酸S-エチルエステル〕 0.7%	移 植 本 田	住 友 化 学 工 業 北 興 化 学 工 業
	SH-8301	粒	TC TP〔ジメチル-2,3,5,6-テトラクロロテレ フタレート〕 9% HOK-7501 (前掲) 0.7%	移 植 本 田	昭 和 電 工 北 興 化 学 工 業
	H-51L	乳	MCP 他 50%	移 植 本 田	協 和 醸 酵 工 業
	NC-310	粒	ホルモン系 1% ニトロ系 2% ピリジン系 5.5%	移 植 本 田	日 本 カ ー バ イ ド 工 業

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
水 稲 除 草 剤 (つづき)	NC-311	粒	ホルモン系 1% 尿 素 系 0.8% ニ ト ロ 系 2%	移 植 本 田	日本カーバイド工業
	ブタクロール・S	粒	ブタクロール〔2-クロロール-2',6'-ジエチル・N-(ブトキシメチル)アセトアニリド〕 4% シメトリン 1.3%	移 植 本 田	三菱モンサント化成
	CP-19H	粒	ブタクロール (前掲) 3% HOK-7501 (前掲) 0.7%	移 植 本 田	三菱モンサント化成
	CP-19M	粒	ブタクロール (前掲) 2.5% MK-6893 (酸アミド系) 1.5%	移 植 本 田	三菱モンサント化成
	MT-204	粒	MT-101 (アニライド系化合物) 7% MT-103 (カーバメイト系化合物) 7%	移 植 本 田	三井東圧化学
	MT-303	粒	MT-101 (アニライド系化合物) - MT-103 (カーバメイト系化合物) - C N P [2,4,6-トリクロール-4'-ニトロジ フェニルエーテル] -	移 植 本 田	三井東圧化学
	B-6494	水和	カーバメイト系化合物 20%	移 植 本 田	クミアイ化学工業
	S-4159	水和	2,6-ジ第3ブチル-4-メチルフェニル-N- メチルカーバメイト 80%	移 植 本 田	住友化学工業
	NTN6285A + K	粒	NTN6285A (カーバメイト系) 7% KUE2079A (新規合成化合物) 2%	移 植 本 田	日本特殊農薬製造
	MT-103	粒	カーバメイト系 7%	移 植 本 田	三井東圧化学
	MT-203	粒	C N P (前掲) 7% カーバメイト系 6%	移 植 本 田	三井東圧化学
	U - 18	水和	カーバメイト系 50%	移 植 本 田	宇 部 興 産
	U - 18	粒	カーバメイト系 12%	移 植 本 田	宇 部 興 産
	UH-1801	粒	U-18 (前掲) 15% HOK-7501 (前掲) 0.7%	移 植 本 田	宇 部 興 産 北 興 化 学 工 業
	NH-701	粒	カーバメイト系 7% トリアジン系 1%	移 植 本 田	日 本 農 薬
	NH-703	粒	カーバメイト系 10% MCPB 0.7%	移 植 本 田	日 本 農 薬
	NH-704	粒	NH-6967〔2,4-ジクロルフェニルピロジニル カーボキシレート〕 5% 新規化合物 5%	移 植 本 田	日 本 農 薬
	モリネートS	粒	モリネート 6% シメトリン 1.5%	移 植 本 田	オルドラム研究会
	G-315	粉	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロール-5 -イソプロピル-オキシフェニル)-5-オキソ- 1,3,4-オキサジアゾリン 2%	移 植 本 田	日産化学工業

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
水 稲 除 草 剤 (つづき)	G-315	乳	G-315 (前掲) 25%	移 植 本 田	日 産 化 学 工 業
	G-315 肥料 A, B	粒	G-315 (前掲) A: 0.35% B: 0.18% N, P, K 各 12%, 28%, 15%	移 植 本 田	日 産 化 学 工 業
	ダイアジノン ・ CNP	粒	CNP (MO-338) 7% ダイアジノン〔ジエチル-2-イソプロピル-4- -メチル-6-ピリミニルホス ホロチオエート〕 5%	移 植 本 田	三 井 東 庄 化 学 日 本 化 薬 ク ミ ア イ 化 学
	NIP改良A	粒	2,4-ジクロルフェニル-4'-ニトロフェニ ルエーテル —	移 植 本 田	東 京 有 機 化 学 三 洋 貿 易
	NIP改良B	粒	同 上 —	移 植 本 田	東 京 有 機 化 学 三 洋 貿 易
	ダイアジノン ・ NIP	粒	NIP 7% ダイアジノン (前掲) —	移 植 本 田	東 京 有 機 化 学 三 洋 貿 易
	TOC-650	粒	NIP (前掲) —	移 植 本 田	東 京 有 機 化 学
	HK-187	粒	DMNP〔3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニ ルエーテルフェノチオール〕 9% HOK-7501 (前掲) 0.7%	移 植 本 田	北 興 化 学 工 業 保 土 谷 化 学 工 業
	S-5992	乳	2,4-ジクロル-4'-ジシアノジフェニルエー テル 20%	移 植 本 田	住 友 化 学 工 業
	Z-60	水和	ジフェニルエーテル系 40%	移 植 本 田	石 原 産 業
	TSH-1676	乳	ジフェニルエーテル系 20%	移 植 本 田	東 洋 曹 達 工 業
	KH-159	粒	モゲトン〔2-アミノ3-クロロ1,4-ナフト キノン〕 ジフェニルエーテル系化合物 MCPB } 11%	移 植 本 田	兼 商
	PP-493	液	3,5-ジクロル-2,6-ジフルオール-4- ハイドロキシビリジン 20%	移 植 本 田	I C I 日 本 農 薬 武 田 薬 品 工 業
	NTN-5006 ・ K	粒	NTN-5006 (有機燐剤) 5.5% KUE2079A 2%	移 植 本 田	日 本 特 殊 農 薬 製 造
	NTN-5006 ・ S	粒	NTN-5006 (有機燐剤) A: 5.5% B: 5.5% シメトリン A: 2% B: 1.5%	移 植 本 田	日 本 特 殊 農 薬 製 造
	NTN-4570 ・ K	粒	NTN-4570 (有機燐剤) 6% KUE2079A 2%	移 植 本 田	日 本 特 殊 農 薬 製 造
	NTN-4751	乳	カーバメイト系 30%	移 植 本 田	日 本 特 殊 農 薬 製 造
	NTN-4572	乳	カーバメイト系 30%	移 植 本 田	日 本 特 殊 農 薬 製 造
	NTN-4573	乳	カーバメイト系 30%	移 植 本 田	日 本 特 殊 農 薬 製 造
	NK-13849	水和	有機合成化合物 50%	移 植 本 田	日 本 化 薬
	NK-14630	水和	有機合成化合物 50%	移 植 本 田	日 本 化 薬

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
水 稲 除 草 剤 (つづき)	TH-3562	粒	含窒素化合物 5%	移 植 本 田	武 田 薬 品 工 業
	TH-3562C	粒	TH-3562 (前掲) 5% TH-0631 (含窒素化合物) 1.5%	移 植 本 田	武 田 薬 品 工 業
	TH-3562D	粒	TH-3562 (前掲) 5% TH-0632 (含窒素化合物) 1.5%	移 植 本 田	武 田 薬 品 工 業
	J-392	乳	未 公 開 50%	移 植 本 田	日 産 化 学 工 業
	HZ-5914	粒	未 公 開 6%	移 植 本 田	エー・メルク・ジャパン
	KH-2277	乳	新合成化合物 20%	移 植 本 田	呉 羽 化 学 工 業
	KH-2277	粒	新合成化合物 5%	移 植 本 田	呉 羽 化 学 工 業
	クロレートK	粉	塩素酸ソーダ 60%	移 植 本 田	昭 和 電 工
	ATA・DCMU	水和	ATA〔3-アミノ-1,2,4-トリアゾール〕 37.5% DCMU〔(3,4-ジクロロフェニル) 1,1-ジメ チル尿素〕 37.5%	移 植 本 田	石 原 産 業
	D C M U	水和	DCMU (前掲) 78.5%	移 植 本 田	デュボン・ファー イースト日本支社
	D P A	水溶	2,2'-ジクロロプロピオン酸ナトリウム 85%	移 植 本 田	ダウボン研究会
	2,4 PA・ATA (カリアトール)	水溶	2,4 PA〔2,4-ジクロロフェノキシ酢酸ナトリ ウム〕 60% ATA〔3-アミノ 1,2,4-トリアゾール〕 28%	休 耕 田	2,4-D協議会
	2,4 PA・ATA ・DPA (ノングラス)	水溶	2,4 PA (前掲) — ATA (前掲) — DPA〔2,2'-ジクロロプロピオン酸〕 —	休 耕 田	2,4-D協議会
	ATA・DCMU (ボミカル アプレックス)	水和	ATA (前掲) 37.5% DCMU〔3-(3,4-ジクロロフェニル) 1,1- ジメチル尿素〕 37.5%	休 耕 田	{ 石 原 産 業 丸 和 物 産
	ATA・プロマ シル (ノンカル)	水和	ATA (前掲) プロマシル〔5-ブロム-3-sec-ブチル -6-メチルウラシル〕	休 耕 田	石 原 産 業
	DBN (カソロン)	粒	2,6-ジクロロベンズニトリル 6.7%	休 耕 田	北 興 化 学 工 業 クミアイ化学工業
	NC-305	水和	トリアゾール系 56% 尿 素 系 27%	休 耕 田	日本カーバイド工業
	PCP・MCP・ DCBN (トリサイド)	粒	PCPカルシウム複塩2水化物 30% MCPナトリウム1水化物 0.8% DCBN 0.75%	休 耕 田	トリサイド普及会
	DCMU (カーメックスD)	水和	3-(3,4-ジクロロフェニル) 1,1-ジメチル尿素 78.5%	休 耕 田	デュボンファーイースト
	塩素酸ソーダ (クロレート ソーダ) (クサトール)	水溶	塩素酸ソーダ 98.5%	休 耕 田	昭 和 電 工 { 日 本 農 薬 保土谷化学工業

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
水 稲 除 草 剤 (つづき)	塩素酸ソーダ	粉	塩素酸ソーダ 70%	休 耕 田	昭 和 電 工
	DCPA・NAC (ワイダック)	乳	DCPA〔3,4-ジクロロプロピオンアニリド〕 25% NAC〔1-ナフチル-N-メチルカーバメイト〕 5%	休 耕 田	ワイダック普及会
②水 稲 生 育 調 節 剤	NC-301	粒	PCP リニュロン 15% 1%	乾 田 直 播	日本カーバイド工業
	HW- 40187C	乳	DMNP〔3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニ ルエーテル〕 20% B-3015〔ベンチオカーブ〕 20%	湛 水 直 播 乾 田 直 播	クミアイ化学 保土谷化学工業
	HW-92H	乳	DMNP HW92 (カーバメイト系) 20% 20%	乾 田 直 播	保土谷化学工業
	DC-55	乳	4-ターシャリブチル-2,6-ジメチル-3,5- ジニトロアセトフェノン 20%	苗代,乾田直播	DC-55 研究会
	DCPA	水和	3,4-ジクロロプロピオンアニリド 50%	苗代,乾田直播	保土谷化学工業
②水 稲 生 育 調 節 剤	H-7140	水和	未 公 開 40%	分けつ促進	日産化学工業
	N-2000	水和	核酸関連物質 10%	活着促進	日 研 科 学
	R N A	粉	リボ核酸 -	生育促進	核酸肥料研究会
	U M P	粉	5'-ウリジル酸ナトリウム -	生育促進	核酸肥料研究会
	C M P	粉	5'-シチジル酸ナトリウム -	生育促進	核酸肥料研究会
③畑 作 除 草 剤	MT-206	乳	2,4,6-トリクロル-4'-ニトロジフェニルエー テル 15% 3-クロル-4-フルオロ-4'-ニトロジフェニ ルエーテル 5%	畑 作 一 般 大 豆	三井東圧化学
	MT-207	乳	2,4-ジクロル-6-フルオロ-4'-ニトロジフェ ニルエーテル 10% 3-クロル-4-フルオロ-4'-ニトロジフェニ ルエーテル 10%	畑 作 一 般 大 豆	三井東圧化学
	X - 52	水和	ジフェニルエーテル系 40%	畑作一般, 陸 稲, 甘藷, 落 花生, 大豆	石 原 産 業
	Z - 43	水和	ジフェニルエーテル系 40%	畑作一般, 陸 稲, 甘藷, 落 花生, 大豆	石 原 産 業
	SW-7003	水和	尿 素 系 80%	畑 作 一 般 陸 稲	三 共
	SW-7004	水和	未 公 開 80%	畑 作 一 般	三 共
	SW-7005	水和	未 公 開 50%	畑 作 一 般	三 共
	H-2901	乳	新有機化合物 40%	畑 作 一 般 大豆, 小豆	北興化学工業

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
畑 作 除 草 剤 (つづき)	H-41L	乳	α N-エチル-2-(フェニルカーバモイロキシ) プロピオンアミド 20%	畑 作 一 般	協 和 醸 酵 工 業
	B-3356	乳	カーバメイト系化合物 50%	畑作一般, 大豆, とうもろこし	クミアイ化学工業
	バーナレート (バーナム)	粒	n-プロピル-N, N-ジプロピルチオカーバメ イト 5%	畑 作 一 般	チラム・バーナム 普 及 会
	D C P A	水和	3,4-ジクロルプロピオンアニリド 50%	陸 稲	保 土 谷 化 学 工 業
	G-315	水和	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロル -5-イソプロピル-オキシフェニル)-5- オキソ-1,3,4-オキサジアゾリン 50%	陸稲, とうも ろこし, 落花生, 大豆	日 産 化 学 工 業
	N P-13	乳	ジフェニルエーテル系化合物 25%	春 小 麦	日 本 曹 達
	H-51L	乳	MCP+その他 50%	とうもろこし さとうきび	協 和 醸 酵 工 業
	S-6115	乳	トリアジン系化合物 12.8%	とうもろこし 大豆, 小豆	東 陽 通 商
	KH-166	微粒	2,4-ジニトロ-6-ターシャリブチルフェニル メタンスルホネート 7%	甘 藷	兼 商
	M C C	粒	メチル-N-(3,4-ジクロルフェニル)カーバ メイト 15%	馬 鈴 薯	スエップ普及会
	E P T C	粒	エチル-ジ-n-プロピルチオカーバメイト 3%	馬鈴薯, てん さい, 菜豆	北 海 三 共
	HSW-7001	乳	DNBPA C β -IPC 40% 20%	馬 鈴 薯 小豆, 菜豆	北 海 三 共
	SLD-695	水和	C β -IPC リニユロン 17.5% 7.5%	て ん さい 大 豆	石 原 産 業
	C P-65	乳	アセトキシリダイド系化合物 48.7%	落花生, 小豆, 小豆, 菜豆	三菱モンサント化成
	C-6313	水和	N-(4-ブロモ-3-クロロフェニル)-N' -メトキシ-N'-メチルウレア 50%	落 花 生 大豆, 菜豆	チ バ 製 品 武 田 薬 品 工 業
	CH-701	水和	ウラシル系化合物 60%	落花生, 大豆, 小豆, 菜豆	中 外 製 薬
	CH-702	水和	ウラシル系化合物 60%	落花生, 大豆, 小豆, 菜豆	中 外 製 薬
	S K-51	粒	バーナレート DCIP〔ジクロルジイソプロピルエーテル〕 殺線虫剤 0.5% 30%	落 花 生	サ ン ケ イ 化 学
	F-1347	乳	S-(2,5-ジクロルベンジル)-N, N-ジメ チルチオールカーバメイト 40%	大 豆	石 原 産 業
	CP-50144 (アラクロール)	乳	2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(メトキシメ チル)-アセトアニリド 43%	大豆, 菜豆	三菱モンサント化成

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
畑 作 除 草 剤 (つづき)	RH-315	水和	NIP〔2,4-ジクロロフェニル-4-ニトロフ ェニルエーテル〕 37% RH-315〔N-(1,1-ジメチルプロピニル) -3,5-ジクロロベンズアミド 18%〕	小豆, 菜豆	三 洋 貿 易
	TOP-25	乳	未 公 開	小豆, 菜豆	三 洋 貿 易
	H-173	粒	PCP DCMU 20% 1.5%	さとうきび	丸 和 物 産
④マルチ 除草剤	B-3015 (サターン)	乳	S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチ オールカーバメイト 50%	陸稲, 水稻	クミアイ化学工業
	サッソーシート TS-30	フィルム状	S-メチル-N-(3-メチルフェニル)チオ ールカーバメイト 30g/a	陸 稲	石 原 産 業 三 菱 油 化 み か ど 化 工
	サッソーシートP	フィルム状	プロメトリン〔2-メチルチオ-4,6-ビスイ ソプロビルアミノ-S-トリ アジン〕 8g/a, 10g/a, 12g/a	さとうきび	三 菱 油 化 日 本 化 薬 み か ど 化 工
	サッソーシート AS	フィルム状	アトラジン〔2-クロロ4-エチルアミノ6- イソプロビルアミノ-S-トリ アジン〕 8g/a, 10g/a, 12g/a	さとうきび	三 菱 油 化 日 本 化 薬 み か ど 化 工
⑤生 育 調節剤	H-7140	水和	未 公 開 40%	陸 稲	日 産 化 学 工 業
	SCU-7001	水溶	新 化 合 物 20%	て ん さ い	北 海 三 共
⑥そざい・ 花 卉 (春夏作 除草剤)	アラクロール (CP-50144, ラッソー)	乳	2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(メトキシメ チル)アセトアニリド 43%	イチゴ(親株 床, ハウス本 ぼ)	三菱モンサント化成
	B-3015 (サターン乳剤)	乳	S-(4-クロロベンジル)N, N-ジエチルチ オールカーバメイト 50%	レタス(ロジ マルチ, トン ネル)	クミアイ化学工業
	SK-51 (バーナレート・ DCIP)	粒	N-プロビル-N, N-di-プロビルチオカー バメイト 0.5% ジクロルジイソプロビルエーテル 30%	トマト, キュ ウリ	サ ン ケ イ 化 学 昭 和 電 工 東 洋 棉 花
	トリフルラリン (トレファノサ イド乳剤)	乳	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N,N -ジプロビル-パラトルイジン 44.5%	サトイモ, ゴ ボウ	シ オ ノ ギ 製 薬
	トリフルラリン (トレファノサ イド粒剤2.5)	粒	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N,N -ジプロビル-パラトルイジン 2.5%	カンラン, ナ ス, ハクサイ, スイカ, ニン ジン	シ オ ノ ギ 製 薬
	NTN-5006	乳	有機リン剤 30%	タ マ ネ ギ	日本特殊農薬製造
	バーナレート (バーナム粒剤 R-1607)	粒	n-プロビル-N, N-di-プロビルチオカー バメイト 5%	移植モ菜一般	東 洋 棉 花
	DC-55	乳	フェノン系化合物 20%	タマネギ, イ チゴ本ぼ	DC-55 研究会 大日本インキ化学工業 八 洲 化 学 工 業 武 田 薬 品 工 業 三 笠 化 学 工 業

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
そさい・ 花卉（春 夏作除草 剤） （つづき）	ジフェナミド （エナイド）	水和	N, N-ジメチル 2,2 ジフェニルアセトアミド 50%	トマト（ロシ マルチ, トン ネル） イチゴ（親株 床, 小苗床, 本ほ, マルチ）	日本アப்பジョン
	ビオメート	粉	ジnkモノメチルジチオカーバメイト 25%	ネギ苗床, タマネギ苗床	東京有機化学工業
	RH-315T	水和	RH-315（未公開） NIP 2,4-ジクロロフェニル-4-ニトロ フェニルエーテル 18% 37%	ダイコン, ハ クサイ, カン ラン, ニンジ ン, イチゴ, タマネギ	三 洋 貿 易
	SD-11831	水和	4-(メチルスルフェニル)2,6-ジニトロ-N -ジプロビルアニリン 50%	カンラン	シエル化学
	リニロン （ロックス）	水和	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ -1-メチルウレア 50%	ニ ラ	デュボンフェーイー スト日本支社
	CP-53619	乳	2-クロル-2',6'-ジエチルN-(ブトキシメチ ル)アセトアニリド 48%	トマト（マル チ, ハウス）	三菱モンサント化成
	PCP・ リニロン （H-337 A粒）	粒	PCP ; ベンタクロルフェノールナトリ ウム 10% リニロン; 3-(3,4-ジクロロフェニル) -1-メトキシ-1-メチルウレア 0.5%	スイカ	丸和物産
	PP-493	液	3,5-ジクロロ-2,6-ジフルオロ-4-ヒドロ キシピリジン 20%	十字科野菜一般	I C I 日 本 農 薬 武 田 薬 品 工 業
	KH-166	微粒	2,4-ジニトロ 6-ter プチルフェニルメタン スルホネート 7%	ト マ ト	兼 商
⑦そさい・ 花 卉 （春夏作 生育調 節剤）	IPC・ リニロン （SLD-695）	水和	IPC ; イソプロビルN-(3-クロル フェニル)-カーバメイト 17.5% リニロン; 3-(3,4-ジクロロフェニル) -1-メトキシ-1-メチルウレア 7.5%	タマネギ, ニ ンジン	石 原 産 業
	IPC・DCMU （ハービサン）	水和	IPC ; イソプロビルN-(3-クロルフェ ニル)カーバメイト 50% DCMU; 3-(3,4-ジクロロフェニル)- 1,1-ジメチルウレア	チューリップ	丸和物産
	U M P	粉	5'-ウリジル酸ナトリウム	そ 菜 苗 （生育促進）	核酸肥料研究会
	R N A	粉	リボ核酸	そ 菜 苗 （生育促進）	核酸肥料研究会
	C M P	粉	5'-シチジル酸ナトリウム	そ 菜 苗 （生育促進）	核酸肥料研究会
	KA-2806	液	アルキルアリルスルホネート 70%	ユ リ （摘らい）	花王アトラス 武田薬品工業

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
そさい・ 花卉（春 夏作生育 調節剤） （つづき）	KA-2813	液	アルキルアリルスルホネート 70%	ユ リ （摘 ら い）	花 王 ア ト ラ ス 武 田 薬 品 工 業
	I B A （エクベロン）	液・粉	インドールブチリックアシッド （液） 0.4% （粉） 0.1% 0.5%	キ ク （発根促進）	シ オ ノ ギ 製 薬
	エ ス レ ル	液	2-クロロエチルフォスホニックアシッド 480g/ℓ	ア ナ ナ ス （発芽分化促進） ト マ ト （着色促進）	2,4-D 協 議 会 { 石 原 産 業 日 産 化 学 工 業
⑧果 樹 除 草 剤	HOK-536	水和	ターバシル；5-クロル-3-tert-ブチル -メチルウラシル 30% DCMU；3-(3,4-ジクロルフェニル) 1,1-ジメチルウレア 45%	ミカン(温州)	北 興 化 学 工 業
	DCPA-NAC （ワイダック 水和剤）	水和	DCPA；3,4-ジクロルプロピオンアニリド 50% NAC；1-ナフチル-N-メチルカーバメイト 10%	ミカン(温州)	ワ イ ダ ッ ク 普 及 会
	EH-275	水和	ターバシル；5-クロル-3-tert-ブチル6 ；-メチルウラシル DCMU；3-(3,4-ジクロルフェニル)1,1 -ジメチルウレア	ミカン(温州 夏柑, 雑柑) リ ン ゴ	デ ュ ボ ン フ ェ ー イ ー ス ト 日 本 支 社
	SW-7006	水和	未 公 開 50%	ミカン(温州)	三 共
	DCMUゾル	水和	3-(3,4-ジクロルフェニル)1,1-ジメチル 尿素 30%	ミカン(温州)	三 共
	PP-493	液	3,5-ジクロロ-2,6-ジフルオロ-4-ヒドロ キシピリジン 20%	ミカン(温州)	I C I 日 本 農 薬 武 田 薬 品 工 業
	NK13849	乳	未 公 開 20%	ミカン(温州)	日 本 化 薬
	A-3587	水和	トリアジン系化合物 50%	ミカン(温州) リ ン ゴ	ガ イ ギ ー 日 本 支 社
	A-3588	水和	トリアジン系化合物 50%	ミカン(温州) リ ン ゴ	ガ イ ギ ー 日 本 支 社
	ATA・DCMU （アブレックス）	水和	ATA；3-アミノ1,2,4-トリアゾール 37.5% DCMU；3-(3,4-ジクロルフェニル)- 1,1-ジメチルウレア 37.5%	ウ メ	丸 和 物 産
⑨果 樹 生 育 調 節 剤	PCP・DCMU （クワロン）	粒	PCP；ペンタクロルフェノールナトリウム 20% DCMU；3-(3,4-ジクロルフェニル)- 1,1-ジメチルウレア 1.5%	リ ン ゴ	丸 和 物 産
	N A A	液	α-ナフタリン酢酸ナトリウム 20%	ミカン(摘果)	保 土 谷 化 学 工 業
	N A A	粉	α-ナフタリン酢酸ナトリウム 90%	ミカン(摘果)	日 本 化 薬
	TH-656	液	1-(α-ナフタレンアセチル)-3,5-ジメチ ルピラゾール 50%	ミカン(摘果)	武 田 薬 品 工 業
	N A A	顆粒	α-ナフタリン酢酸 20%	ミカン(摘果)	協 和 発 酵 工 業

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
果樹生育 調 節 剤 (つづき)	N A A		α -ナフタリン酢酸	ミカン(摘果) の基礎 雑柑(摘果)	N A A 研 究 会
	SR-1081	粉	$\text{SiO}_2 \cdot n\text{H}_2\text{O}$ 含水無晶形(酸化ケイ素) 88%以上	リンゴ(被膜)	シ オ ノ ギ 製 薬
	Y P C	乳	パラフィン 36%	リンゴ(被膜)	八 洲 化 学 工 業
	エ ス レ ル	液	2-クロロエチルフォスフォニックアシッド 48%	リンゴ(着色, 熟期促進)	2,4-D 協 議 会 { 石 原 産 業 日 産 化 学 工 業
	B-ナイン	水溶	N-ジメチルアミノサクシナミックアシッド 80%	リンゴ(スタ ーキングの着 色促進, 落果 防止, 貯蔵性 の増大)	日 本 曹 達
⑩茶 園 関 係 除 草 剤	トリフルラリン (トレフナサイド 粒剤2.5)	粒	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニトロ-N,N -ジプロピルパラトルイジン 2.5%		シ オ ノ ギ 製 薬
⑪桑 園 関 係 除 草 剤	NC-302	粒	PCP ; ペンタクロルフェノールナトリウム 20% DCMU ; 3-(3,4-ジクロルフェニル)- 1,1-ジメチルウレア 1.5%		日本カーバイド工業
	M C C	粒	メチル-N-(3,4ジクロルフェニル)カーバ メイト 15%		スエップ普及会 { 日 産 化 学 工 業 日 本 農 薬 北 興 化 学 工 業
	M C C	水和	メチル-N-(3,4ジクロルフェニル)カーバ メイト 40%		スエップ普及会 { 日 産 化 学 工 業 日 本 農 薬 北 興 化 学 工 業
⑫桑園関 係生育 調節剤	エ ス レ ル	液	2-クロロエチルフォスフォニックアシッド 48%		2,4-D 協 議 会 { 石 原 産 業 日 産 化 学 工 業
⑬林 地 関 係 除 草 剤	DC-55	乳	フェノン系化合物 20%	播 種 床 床 替 床	DC-55 研 究 会 { 大 日 本 イ ン キ 化 学 工 業 八 洲 化 学 工 業 三 笠 化 学 工 業 武 田 薬 品 工 業
	C N P (MO-500)	乳	2,4,6-トリクロル4'-ニトロジフェニルエーテル 20%		三 井 東 庄 化 学
⑭牧野草 地関係 除 草 剤	2,4PA-ATA (カイコン 水溶剤)	水溶	2,4D ; 2,4-ジクロルフェノキシ酢酸 44% ATA ; 3-アミノ1,2,4-トリアゾール 43%		2,4-D 協 議 会 { 石 原 産 業 日 産 化 学 工 業
	M C P	乳	2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸ブチル 60%		2,4-D 協 議 会 { 石 原 産 業 日 産 化 学 工 業
	ATA-DCMU (ボミカル 水和剤)	水和	ATA ; 3-アミノ1,2,4-トリアゾール 37.5% DCMU ; 3-(3,4-ジクロルフェニル)- 1,1-ジメチルウレア 37.5%		石 原 産 業

区 分	薬 剤 名	剤型	成 分 お よ び 成 分 含 有 率	対 象	委 託 会 社 名
牧野草地 関係除草 剤	$\text{NH}_4\text{SO}_3\text{NH}_2$ ・TCBA (イクリン プレメント)		$\text{NH}_4\text{SO}_3\text{NH}_2$; スルファミン酸アンモニウム 80% TCBA ; 2,3,6-トリクロル安息香酸 7%		保土谷化学工業
	スルファミル酸 ・碓安	複塩	スルファミン酸 硫酸アンモニウム 80%		三井東圧化学
	DCBN (プレフィクス 粒剤6.5)	粒	ジクロルチオベンザマイド 6.5%		シエル化学 中外製薬 保土谷化学工業 八洲化学
⑮芝生 関係 除草剤	DCPA・ CHCH・ 2,4-PA		DCPA ; 3,4-ジクロルプロピオンアニライド 34% CHCH ; シクロヘキセニールシクロヘキサン 17% 2,4-PA ; 2,4-ジクロルフェキシ酢酸 10%		クミアイ化学工業

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農 林 省 農 政 局 植 物 防 疫 課

(昭 和 4 5 年 1 月 1 日 ~ 昭 和 4 5 年 4 月 3 0 日)

分 類	種 類 名	商 品 名	有効成分の種類および含有量	剤型	使用対象	登 録 会 社
ホルモン型 除草剤	2,4 PA・ 2,4,5-T	ヤブナイト S	2,4-ジクロルフェノキシ酢酸ブチル 2.7% 2,4,5-トリクロルフェノキシ酢酸ブチル 1.3%	粒 剤	造林地の 下刈, 地 ごしらえ	昭 和 電 工
	フェノチ オール	水中ゼロワン	2-メチル-4-クロルフェノキシ酢 酸-S-エチル 1.4%	粒 剤	造林地の 下刈, 地 ごしらえ	北興化学工業
非ホルモン 型除草剤	N I P	寿ニップ水中和剤	2,4-ジクロルフェニル-4'-ニトロ フェニルエーテル 50%	水和剤	大豆, ら っかせい	寿 化 成
		畑作用寿 ニップ粒剤	同 上 5%	粒 剤	らっかせい, にんじん, かんしょ	寿 化 成
	C N P	ホクコーMO乳剤	2,4,6-トリクロルフェニル-4'-ニ トロフェニルエーテル 20%	乳 剤	だいこん, 湛水直播 水稻, 水 稻, かん らん, に んじん, ごぼう, はくさい	北興化学工業
		ホクコーMO粒剤	同 上 7%	粒 剤	水稻, 乾 田直播水 稻, 七島い	北興化学工業

分 類	種 類 名	商 品 名	有効成分の種類および含有量	剤型	使用対象	登 録 会 社
非ホルモン 型除草剤	フロロジフ エン	ブレホラン粒剤	2,4-ジニトロ-4-トリフルオルメチ ルジフェニルエーテル 7%	粒剤	水 稲	クミアイ化学工業
		ブレホラン粒剤	同 上	同上	同 上	武田薬品工業
		ブレホラン粒剤	同 上	同上	同 上	チバ製品
	ターバシル	デュボンシンパー	3-ターシャリーブチル-5-クロル- 6-メチルウラシル 80%	水和剤	温州みかん	デュボンファーマ ー・スト日本支社
	DCPA・ CMP	フェンタム乳剤	3,4-ジクロロプロピオンアニリド 30% 0,0-ジエチル-S-(2,5-ジクロル フェニルチオメチル)ジチオホスフェート 7%	乳剤	かんきつ	日本化学
	D B N	ホクコーカソ ン粒剤 6.7	2,6-ジクロルベンゾニトリル 6.7%	粒剤	りんご	北興化学工業
		クミアイカソ ン粒剤 6.7	同 上	同上	同 上	クミアイ化学工業
	アラクロール	ラッソー乳剤	2-クロル2',6'-ジエチル-N-(メト キシメチル)アセトアニリド 43%	乳剤	きゃべつ, は くさい, ほう れんそう	三菱モンサント
		日農ラッソー乳剤	同 上	同上	同 上	日本農薬
		日産ラッソー乳剤	同 上	同上	同 上	日産化学工業
	シメトリン	ギーボン 50	2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミ ノ-S-トリアジン 50%	水和剤	ね ぎ	日本化学
	リニュロン	三共アファロン 水和剤	N-(3,4-ジクロルフェニル)-N- メトキシ-N-メチル尿素 50%	水和剤	乾田直播水稻, にんじん, ばせ り, はっか, 陸 稲, 麦類, とう もろこし, みつ ば, セロリー, たまねぎ, アス パラガス, 豆類, らっかせい, ばれいしょ, かんしょ, 桑	三 共
	プロマシル	ハイパーX粒剤 2.5	5-ブロム-3-セコンダリーブチル- 6-メチルウラシル 2.5%	粒剤	み かん	三笠産業
	D M N P	ファーマイト乳剤	3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニル エーテル 25%	乳剤	麦 類	保土谷化学工業
	D P A	「保土谷」ダウ ボン粉剤	2,2-ジクロルプロピオン酸ナトリウム 20%	粉剤	林地, 開かん地	保土谷化学工業
		石原ダウボン粒剤	同 上 15%	粒剤	同 上	石原産業
		保土谷ダウボン 粒剤	同 上	同上	同 上	保土谷化学工業
		日産ダウボン粒剤	同 上	同上	同 上	日産化学工業

分 類	種 類 名	商 品 名	有効成分の種類および含有量	剤型	使用対象	登 録 会 社
非ホルモン 型除草剤	D P A	日産ダウボン粒剤	2,2-ジクロロプロピオン酸ナトリウム 15%	粒剤	林地, 開こん地	東京日産化学
		シアン酸塩 シ ア ノ ッ ト	シアン酸ナトリウム 80%		畑作, ばれい しょ, さとい も, こんにゃ く, 樹園, 林 地, 牧草地	日本ファインケ ミカル 森 林 苗 圃
	テトラピオン	フレノック粒剤 10	2,2,3,3-テトラフルオールプロピオン酸 ナトリウム 10%	粒剤	林地, 開こん地, 地ごしらえ, 下刈	三 共
		フレノック粒剤 10	同 上	同上	同 上	北 海 三 共
		フレノック粒剤 10	同 上	同上	同 上	九 州 三 共
		フレノック粒剤 10	同 上	同上	同 上	ダイキン工業
混 合 剤		塩 素 酸 塩 ダイソレート80 粒剤	塩素酸ナトリウム 80%	同上	同 上	大 阪 曹 達
	PCP・フ ェノチオール	ゼロワンP粒剤	ペンタクロルフェノールナトリウム-水 化物 17% 2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸 -S-エチル 0.7%	同上	水 稲	北興化学工業
	DMNP・ MCP	フーメイトM 粒剤	3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニル エーテル 16% 2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸 エチル 0.9%	同上	同 上	保土谷化学工業
	トリフルラリ ン・M CPAN	エムフラン粒剤	α, α, α -トリフルオール-2,6-ジニ トロ-N, N-ジプロピル-P-トリイジン 1.3% 2-メチル-4-クロルフェノキシアセ トアニリド 1.3%	同上	同 上	石 原 産 業
	DCPA・ CNCH・ NAC	スチー ン 乳 剤	3,4-ジクロロプロピオンアニリド 30% 2-(1-シクロヘキセニル)シクロヘ キサノン 15% 1-ナフチル-N-メチルカーバメート 5%	乳剤	み か ん	クミアイ化学工業
	シメトリン・ MCPB	パウナックスM 粒剤3.5	2-メチルチオ-4,6-ビスエチルアミ ノ-S-トリアジン 2.5% 2-メチル-4-クロルフェノキシ酢酸 エチル 1%	粒剤	水 稲	日 本 化 薬

登録生育調節剤一覧

農林省農政局植物防疫課
(昭和43年10月1日～昭和45年3月31日)

商 品 名	有効成分の種類および含有量	剤 型	薬 効	使 用 対 象	登 録 会 社
日産MH-30	マレイン酸ヒドラジドジエタノール アミン 58%	液 剤	脇芽抑制 貯蔵中の発芽防止 抽台防止 つるぼけ防止	たばこ、てんさい たまねぎ、ばいしょ にんじん、結球白菜、 夏まきやっぺつ かんしょ	東京日産化学
理研MH-30	同 上	同 上	同 上	同 上	理 研 薬 販
クミアイMH-30	同 上	同 上	同 上	同 上	クミアイ化学工業
ビーチシン	N-1-ナフチルフタラミン酸ナト リウム 17.2%	同 上	摘 果	もも(大久保)	石 原 産 業
ヤシマB-ナイン 水溶剤	N-(ジメチルアミノ)ースクシン アミド酸 93%	水和剤	節間調節による 伸長抑制 着粒増加 赤系品種の着色 増進 収穫前落果防止 貯蔵果実のぼけ 防止 着色増進	小菊、中輪ぎく、ボ インセチア、ベチュ ニア、はぼたん ぶどう(豆峰) りんご おうとう	八 洲 化 学 工 業
トルベス	α-ナフタリン酢酸 10%	水和剤	摘 果	温州みかん(成木)	協和醸酵工業
クミアイナフサク 粉末	α-ナフタリン酢酸ナトリウム 90%	同 上	摘 果 生長休止時期の 促進 結果の促進	温州みかん(成木) からまつ苗木 かぼちゃ	クミアイ化学工業
ホクコーナフサク 粉末	同 上	同 上	同 上	同 上	北興化学工業
テッカス	α-ナフタリン酢酸ナトリウム 20%	水溶剤	摘 果	温州みかん(成木)	武田薬品工業
ニカゾール	酢酸ビニルフマル酸ジオクチル共 重合体 50%	溶 剤	サビ果防止	りんご(ゴールデン デリシャス)	日本カーバイド 工業
サビノック	ポリブデン 50%	同 上	同 上	同 上	大内新興化学工業

植調編集委員会より

昭和45年5月14日(金)(財)日本植物調
節剤研究協会において、昭和45年植調編集委
員会を開催、昭和45年度収支予算、編集方針
等につき協議した。

なお、編集委員のうち、久保直一氏(石原産
業)が辞任し、後任に山下義明氏(石原産業)
が就任した。

新除草・調節剤

ゼロワン 粒剤

(取扱メーカー) 北興化学工業株式会社

対象作物：水稻

性状・作用特性：本剤は有効成分フエノチオール(2-メチル 4-クロロフエノキシチオ酢酸 S-エチル) 1.4%を含む粒剤で、移植後30日前後(分けつ中後期～幼穂形成期)に処理することにより広葉雑草に優れた効果を示す。

フエノチオール(試験名 HOK-7501)は吸収移行、ホルモン型除草剤で、殺草力は従来のMCPエチル、アリルMCPとほぼ同等であり、薬害はこれらと同等かやや小さい傾向と思われる。人畜毒性、魚毒性共に小さく実用上問題はない。

使用方法：移植後30日前後(分けつ中後期～幼穂形成期)に製品3～4Kg/10aを湛水均一散布する。適用地域は北海道を除く全域である。

使用上の注意：MCPに準ずる。

ゼロワンP 粒剤

(取扱メーカー) 北興化学工業株式会社

対象作物：水稻

性状・作用特性：本剤は有効成分としてPCP 17%, フエノチオール 0.7%を含む粒剤である。(試験名 HOK-7503)

本剤はPCPの接触効果にホルモン型のフエノチオールを加えることで殺草幅が拡大され、イネ科、広葉、マツバイなどに優れた効果を示す。

使用方法：移植後4～8日(寒冷地では第一回中耕後)に製品3～4Kg/10aを処理する。適用地域は、寒地を除く普通期栽培地帯である。

使用上の注意：PCP, MCP剤に準ずる。

HOK-7502 粒剤

(取扱メーカー) 北興化学工業株式会社

対象作物：水稻

性状・作用特性：本剤は有効成分としてPH 40-21 6.3%とフエノチオール 0.7%を含む粒剤である。

本剤は吸収移行型・非ホルモン型で、ヒエ・マツバイなどには効果が高いが、ユナギに劣るPH 40-21にフエノチオールを加えることで、この欠点を補なったものである。殺草幅、処理適期幅も大きい。

本剤は、また他の除草剤では効き難い多年生雑草ミズカヤツリ、ウリカワ等にも効果がある。

人畜毒性、魚毒性とも小さい。

使用方法：移植後7～10日(ノビエ 2葉まで)に製品3～4Kg/10aを処理する。

使用上の注意：低温時および異常高温時の使用はさける。他はPPに準ずる。

HOK-7505 粒剤

(取扱メーカー) 北興化学工業株式会社

対象作物：水稻

性状・作用特性：本剤は処理適期幅が大きく、水稻に対する薬害の小さい吸収移行型、非ホルモン型のシメトリンにフェノチオールを加えて、広葉、マツバイ殺草力を向上させたものである。A粒剤(寒地用)は、シメトリン2.5%にフェ

ノチオール0.7%、B粒剤はシメトリン1.5%にフェノチオール0.7%を含むものである。

使用方法：A粒剤は移植後10～15日(ヒエ1～2葉)又は中耕後(東北北部)に製品3～4kg/10aを処理する。適用地帯は寒地暖地を除く普通期栽培地帯である。B粒剤は、移植後10～15日(ヒエ1～2葉)に製品3kg/10aを暖地普通期栽培地帯で使用する。

使用上の注意：暖地での異常高温時の散布には注意する。

植調協会だより

◎ 支部の発足

当協会では、かねてから各地域単位に支部を設置し、植物調節剤の利用開発研究と普及を積極的かつ円滑に進めてゆくことを決め、昭和44年度に寄付行為の一部を改正し、これが設置について関係機関と協議したところ、東北植物調節物質協議会については、昭和44年度より支部とした。

今回、北海道除草剤協会が発展的に解散し、昭和45年度から、北海道支部として新たに発足することになった。

◎ 研究会の開催

当協会では、従来より雑草防除に関する各種研究会を開催することを決め、次のような研究会を設定し、推進をはかることにした。

1. フラビ防除研究会

昭和45年5月9日(土)、国立教育会館(東京)において開催。嶋村匡俊氏(農林省畜産試験場草地部)よりフラビ文献の紹介、米村寿男氏(農林省家畜衛生試験場研究第4部)より牛の汎骨髓炎について、迫田英一氏(農林省畜産局自給飼料課)より草地開発の現状と今後の方向、真田 雅氏(栃木県酪農試験場飼料部)よりフラビに関する試験研究についての講演の後、フラビ防除に関する除草剤の使用設計について検討した。

2. 除草剤散布能率の増進に関する研究会

昭和45年5月15日(金)、都市センター(東京)において開催した。

まず、当協会より昭和45年度試験実施計画概要を説明し、武長 孝氏(農業機械化研究所)より、散粒用機具の現状報告の後に、昭和45年度の試験設計について検討した。

この研究会の構成は、農林省農事試験場、農業機械化研究所、当協会および傘下の17社で、今年度は、サターンS、スエップM、M0-9、

ニップ、パムエン、PCPの各剤を取り上げ、
宮城、秋田、新潟、栃木、静岡、佐賀県農試で
試験を分担することになった。

3. 土壌混和に関する研究会

6月5日(金)、当協会会議室において開催す
る予定である。

◎ 人事異動

退職 植調事務局 嘱託 和田栄太郎(3月)

任 ク 主事 宮本亮子(4月)

任 ク 庶務課長代理 田口 宏(5月)

似た草の見分けかた・・・・・・・・

ハルジオンとヒメジョオン

一見似通った草でも、生活型が違うと防除
の方法も違ってくる。例えば、キク科のハル
ジオンとヒメジョオンはどちらも帰化植物で、
繁殖力が強く、群生して白い花を一面に咲か
せ、形態的にも非常に似ているので、見分け
がつかないものである。ところが、ハルジオ
ンを多年草、ヒメジョオンは越年草なので、
薬剤防除の方歩も違うため、この区別をはっ
きり知っていないと適格な防除ができない。

ハルジオンは多年草で、種子でも繁殖しま
すが、親株から細い地下茎がたくさん伸びて、
その先から芽をだしてふえる。一方、ヒメジ
ョオンは越年草で、種子で繁殖し、地下茎で
はふえない。

形態的な違いは、ハルジオンは葉や茎に白
い軟毛がたくさん生え、特に幼植物のときは
葉が白っぽく感じられる程度である。茎につ
く葉は、基部が広がって茎を抱く形をし、茎
を切って見ると、中空になっている。花は、
普通は5~6月で、ヒメジョオンよりも早く
咲き、つぼみのときに下に垂れ下がる特徴が
ある。これに対し、ヒメジョオンは茎や葉の
毛があらく、茎につく葉は基部が細くなって、
茎を抱かない。茎は中空ではなく、花も普通
は6~9月と遅く咲き、つぼみのときに下
には垂れ下らない。見分けかたのポイントは、
花の咲く時期でも一応の目安になるが、花期
は場所や気候によって違うので、最も正確な
方法は、茎につく葉が茎を抱いているかいか
ないか、茎が中空であるか中空でないかで見
分けるのが、一番よい方法である。

編 集 後 記

風薫る若葉の季節を迎え、野山の雑草もわが
世とばかりに活発に生育する。

これらの雑草のうち、家畜の飼料として有益
な雑草と、農耕に大きな被害をおよぼす雑草と
がある。これらの雑草を選択的にコントロール
する化学物質、つまり、除草剤や生育調節剤の
活躍する場面が存在するわけである。植調第4
巻の表紙は、これらの化学物質と植物の関係を
表現したものである。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都港区芝西久保桜川町26番地

電話 東京(03)502-4188(代)

昭和45年5月発行

植調第4巻第1号 ￥70(送料35)

編集人 日本植物調節剤研究協会会長 河田 党

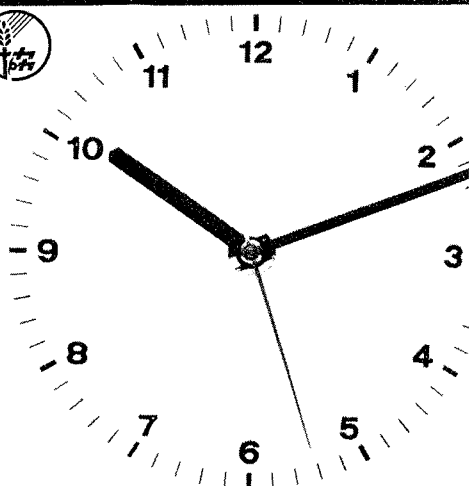
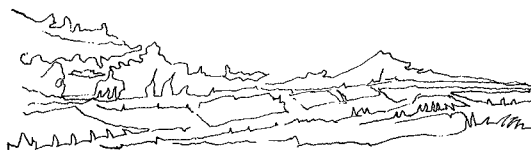
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

東京都港区芝愛宕町1-3、全国農村教育協会内

発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)436-3388番

この新しい時間を何に
つかいますか?



農作業の省力化を実現——

草剤です。

一回の散布でほとんどの雑草を
防除し、グンと経済的な除

■サターンS粒剤は、薬害の
心配がなく、効力が非常に長
く続きます。

殺草力を発揮する新しい型の
除草剤です。

■サターンS粒剤は、マツバ
イ、ノビエなどにすばらしい

ここが違います

サターンS粒剤は

ハツとする効きめ

サターンS粒剤は、すぐれた
効きめで米つくりの省力化を
はかり、「新しい時間」を創
造します。

驚異の新除草剤

マツバイ ノビエを一掃

サターン®S粒剤

新しい技術 新しいサービス

クミアイ化学工業株式会社

本社 東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビル) 〒100

保土谷の除草剤



PCP粒剤 25……水田用除草剤

DCPA乳剤 35…… ”

P・P除草剤 12…… ”

保土谷PCP粒剤25……畑作専用除草剤

ワイダック乳剤……かんきつ用除草剤

クサトール 50……山林用除草剤

イクリン 70…… ”

クサトールFP粒……山林、開墾地、空中散布用

保土谷化学工業株式会社

東京都港区芝琴平町2番地1

営業所 大阪 名古屋



休耕田の 雑草枯らしに!

武田グラモキソン®

休耕田は雑草の発生量が増加し、休耕後の作付が困難になります。
またウンカ・ヨコバイなどの害虫や、いもち病・しらは枯れ病などの病害発生のもととなります、武田のグラモキソンでかならず休耕田の除草をして下さい。

●グラモキソン散布方法

10a 当り 100~150ℓ の水に グラモキソン 300~400CC を希釈して展着剤アルソープを加え加圧噴霧機で雑草にむらなく散布して下さい。



武田薬品工業株式会社 東京都中央区日本橋江戸橋2-7

—種子から収穫まで護るホクコー農薬—



- 高温下でも安心して
使える……
たまねぎ専用除草剤

アリセップ水和剤



- うり類に対して選択性の高い
うり類専用除草剤

ホクコー アラナップ液剤

北興化学

東京都中央区日本橋本石町4-2
支店: 札幌・東京・新潟・名古屋・大阪・福岡